

04 木曽郡植樹祭

【日 時】 平成 29 年 6 月 1 日（木）10：30～14：45

【場 所】 王滝村 松原スポーツ公園ほか

【内 容】 以下のとおり

毎年町村持ち回りで開催されている「木曽郡植樹祭」について、今年は王滝村を会場として同村主催の「水と緑の感謝祭」との合同行事として開催され、木曽郡内の住民、みどりの少年団、木曽川下流域住民等約 500 名が参加しました。平成 25 年依頼の平日開催となりましたが、森林整備協定を締結している愛知中部水道企業団からも管内住民と職員合わせて 87 名（大型バス 2 台）の方が参加されました。

前日までは激しい雨が降っていましたが朝には止み、9:00 から始まった準備作業は順調に進みました。10:30 より始まった開会式典の頃には晴れ間も見えるようになり、主催者あいさつ、来賓祝辞のほか、地元小中学生による「みどりの宣言」が行われました。

式典終了後は 9 つの班に分かれて植樹・育樹作業を行いました。愛知中部水道企業団関係者は育樹作業として川沿いの土手の除伐作業を行いました。作業の指導は地域振興局林務課や町村、森林管理署職員が担当し、私たちはヘルメットやのこぎりなどの配布・回収を担当しました。今回の作業場所は、昨秋実施した「水源の森応援隊」で除伐を行った場所の隣であったため、多くの参加者が現地の状況を把握しており、比較的スムーズに作業が進みました。公園整備の折に植えられたシラカバやサクラなどに混じってカワラグミなどの雑木が繁茂していましたが、参加者が互いに協力しながら伐倒をおこない、約 1 時間の作業で見違えるほどきれいになり、日当たりや風通しが良くなりました。

植樹祭は昼食までで終了・解散となりましたが、愛知中部水道企業団関係者は 2 グループに別れ村内の散策を行いました。清滝と御嶽神社里宮の散策では、地元ガイドの西村さんと脇坂さんがそれぞれバスに乗り案内をしていただきました。厳かで清廉な様子に参加者の皆さんは、一様に感激した様子でした。参加者の皆さんは、14：45 に下流へ向け出発されました。今回も事故や怪我が無く無事終了する事が出来ました。

今回の式典会場が舗装された駐車場であったことから、主催者側で携帯座布団が用意されていましたが、プログラムと一緒に受付で配布されました。企業団関係者に対しては、バスごと一括して受け取るようにしたため、参加者には配布されないまま式典に参加してもらうことになり、直接地面に座ることになってしまいました。

これは、式典終了後そのまま植樹作業に移るため、手ぶらで参加する方も多かったことから、敢えて配布物を渡さないよう配慮したものでしたが、事前に配布物の内容を確認していれば別の対応方法も可能だったのではないかと思います。次回への課題として注意が必要と感じました。

また、植樹作業に移る際に、荷物を一旦式典会場に置いておきたいと希望する方もいらっしゃったため、企業団関係者用にブルーシートを用意し、日陰に置くよう対応しました。次回以降も、会場や進行状況にもよりますが、同様の対応が必要と思われます。

なお、本事業は愛知中部水道企業団の「水道水源環境保全基金助成金」の対象事業として、下流域住民及び企業団関係者の参加に係る費用に補助金が充当されました（9 月 23 日に開催された「水源の森応援隊」と合わせて充当額 168 千円）。

◎ 当日の様子

